

「明るく・元気・前向き」の精神で 中小企業の海外ビジネスを全力サポート!!

1890年に創業した老舗士業集団「TOMA コンサルタンツグループ」。現在は一般的な税務・会計業務だけでなく、事業承継、人事労務、財務、医療に関するコンサルタントサービスも展開している。また、今年10月にはシンガポール支店を開設し、いよいよ本格的に海外ビジネスの支援業務も展開するという。その老舗ならではの経営感覚と海外戦略に迫った。

1952年生まれ。75年慶応義塾大学商学部卒。81年税理士登録、81年公認会計士登録。82年藤間公認会計士事務所設立。2011年TOMAコンサルタンツグループ(株)TOMA税理士法人、TOMA社会保険労務士法人、TOMA公認会計士事務所設立。2013年TOMA監査法人、TOMA行政書士法人設立。総勢約150名の専門家を擁し、総合コンサルティングを展開している。

TOMAコンサルタンツグループ(株)
代表取締役、税理士・公認会計士
藤間秋男



池田 その後、監査法人で勤務した後、独立したわけですね。藤間 監査法人では6年ほど勤務しましたが、監査だけではなく、もって経営全般にかかわる仕事があったと思うようになりました。独立を決心しました。ほとんどゼロからのスタートだったので、たまたま事業承継の原稿を書かせていた

時代変化に対応したビジネスモデルを創出

池田博義・マイツグループ CEO
PCEO TOMAコンサルタンツグループには創業から123年もの歴史がありますが、まずは現在に至るまでの歴史をお聞かせいただけますか。

藤間 父は祖父の楠一から「藤間一族は司法書士しかない。誰か弁護士か会計士になる者はいないのか」といわれていたのですが、父に弁護士か会計士になつてもらいたいと思つていました。しかし、父の兄ふたりが戦争に借り出されおり、父が学生時代から司法書士の手伝いをしていたこともあって、そのまま司法書士を継いだのです。

池田 司法書士の家系だったにもかかわらず、どうして会計士になつたのですか。

藤間 父は祖父の楠一から「藤間一族は司法書士しかない。誰か弁護士か会計士になる者はいないのか」といわれていたのですが、父に弁護士か会計士になつてもらいたいと思つていました。しかし、父の兄ふたりが戦争に借り出されおり、父が学生時代から司法書士の手伝いをしていたこともあって、そのまま司法書士を継いだのです。

池田 最初から会計士になるつもりだったのですか。

藤間 大学に入った頃は会計士になるつもりはなく、遊んでばかりいました。マージャンの腕前はまさにプロ級で、全国マージャン大会で関東1位になったくらいです。ところが、大学3年のときに父から会計士になるようにいわれ、それから血眼になつて勉強に励みました。周囲からは無理だからやめろといわれましたが、大学を卒業したつぎの年には会計士試験に合格することができました。

池田 海外展開についてはどうですか。

藤間 これまでも海外拠点や国際税制に力を入れようと思つたことはあったのですが、本格的に取り組もうと考えたのは東日本大震災が発生してからです。災害をはじめとした不測の事態を乗り越えるためには、グローバルなビジネスを展開しておくべきだと考えたのです。そこで、マイツグループが中心となつて組織している中国・アジア進出支援機構に参加したほか、今年10月にはシンガポール支店を立ち上げ、「TOMA」としてトックラスの人材を支店長として赴任させることにしています。今後は中国はもちろん、アメリカ

アジア進出の達人・池田博義の Global Channel



シンガポール拠点から海外事業をスタート

藤間 職員がひとりでも業務を抱え、共に地球に貢献します」という経営理念を掲げ、一般的な税務・会計業務のほか、事業承継と人事労務、財務、医療に関するコンサルティングサービスを展開しています。専門性の高い業務が多いのですが、当社ではとにかく「明るく・元気・前向き」な人材を採用するようにしています。そういった人材であれば、入社時に実務経験や知識が少なくても、アツという間に成長し、会社や顧客に対して提案できるようになります。

池田 150名ものスタッフを抱えています。職員のコミュニケーションはシシオンはどうなっていますか。

藤間 職員がひとりでも業務を抱え、共に地球に貢献します」という経営理念を掲げ、一般的な税務・会計業務のほか、事業承継と人事労務、財務、医療に関するコンサルティングサービスを展開しています。専門性の高い業務が多いのですが、当社ではとにかく「明るく・元気・前向き」な人材を採用するようにしています。そういった人材であれば、入社時に実務経験や知識が少なくても、アツという間に成長し、会社や顧客に対して提案できるようになります。

池田 海外展開についてはどうですか。

池田博義

マイツグループCEO
公認会計士。1948年生まれ。71年同志社大学経済学部卒業。75年公認会計士資格取得と同時に池田公認会計士事務所、税理士池田博義事務所を開設。87年株式会社マイツを設立、代表取締役に就任。94年株式会社マイツ上海代表処開設、首席代表に就任。99年上海邁伊茲諮詢有限公司設立、董事長就任。その後、現在に至るまで中国沿海部にマイツグループの事業所を展開しつづけている。2011年10月マイツグループ中国・アジア進出支援機構を立ち上げ、15カ国27拠点で日系企業の中国・アジア進出をサポートしている。

失敗からわかるアジア進出

発行：東方通信社 定価：1500円+税

中国進出21年、アジア全土の従業員500名、アジア進出中の顧問先3200社超、アジア進出のコンサルを日本でもっとも多く手掛けるマイツグループのCEO、池田博義氏によるアジア進出に関するノウハウ本。日中関係、日韓関係が危ぶまれるなか、新たなアジア戦略を描く必要性が急浮上しているが、本書を読めば自社がアジア進出に向いているのか、どの国・地域に拠点を設けるべきなのかを理解することができる。また、第6章の「失敗を避けるためのチェックリスト」と巻末資料「ココで失敗アジア進出の落とし穴」では国別の失敗事例をチェックできるようにしている。これからアジア進出を目指す企業、検討しているビジネスマンには是非とも目を通してもらいたい。

池田 実には心強いですが、これからは一緒に中小企業のアジア進出などを後押ししていきます。本日はありがとうございました。

池田 「明るく・元気・前向き」なTOMAコンサルタンツグループは、本物の一流専門家集団として、社員・家族とお客様と共に成長・発展し、共に幸せにしたいです。

池田 初めての海外進出ということで、政治的にも経済的にもリスクが少ない国を選びました。また、最近では東南アジア圏に関する相談が多く、地理的にも経済的にも中心的な存在であるシンガポールに拠点を置くことに意味があると考えたのです。とにかくこれからは顧客に対し、私たちがシンガポールに拠点を置くことをPRし、海外ビジネスの相談をドンドン受けられるようにしていきたいと思っています。その一環として、年内には顧問先に声をかけて、シンガポールへの視察旅行を実施する予定です。